

22世紀アートの本
電子書籍オンデマンド/オーディオブック

我聞宗心の本

誇りある人生
わたしの八十年の軌跡

「誇り」とはなんでしょう？
誇りの有無が、その人の行動を美しくするか、醜くするかを決める……著者の人生の軌跡をまとめたエッセイ。



明日を拓く75章

愉しく徳して生きるために

愉しく徳する生き方に出会うには……「我聞塾」を主催する著者が、滋味あふれる言葉を選び、くつて分かりやすい解説とともにお届けする人生の書。

●お求めは
●電子書籍: Amazon
●オンデマンド: Amazon | 三省堂 | 楽天
●オーディオブック: Amazon | オーディオブック | 103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-23-1 ACN日本橋リバーサイドビル5階 TEL 03-5941-9774 (価格は税込)

各書籍共通 ©電子書籍500円 ©オンデマンド1166円 ©オーディオブック1500円

長を務めていたところ、「次の理事長に」と声を掛けられたのです。

就任してすぐ、新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われ、マンハッタンの本部「ジャパン・ハウス」も一時、閉めざるを得ませんでした。これは第二次世界大戦以来のこと。もちろん今は再開し、対面のイベントも開催しています。二三年九月には日本政府と「G7保健フォロアアップ・サイドイベント」を共催しました。岸田文雄首相が開

会の挨拶をし、ビル・ゲイツ氏やテドロスWHO事務局長など各界のリーダーが参加して下さいました。この六月にニューヨークのホテルで開催したアニュアル・ディナーには六百五十人以上が集まりました。司会はブロードウェイ俳優の由水南さん。ラビダスの小池淳義社長とIBMのアービンド・クリシュナCEOが行った、半導体技術の戦略的パートナーシップに関する講演も素晴らしかったです。私達の使命は両国の人と人

を繋ぎ、精神的な絆を作ります。今、特に日本での活動を積極的に行うことを心掛けています。経団連の方々との交流、本部ビルを設計した建築家・吉村順三氏の展覧会の後援、会員向けビジネスセミナーの開催など、数えればきりがありません。フロントיא اسپリットに溢れた北海道で育ったことを私は幸運だと思っています。外見から「自分は日本人ではなく外国人なんだ」と疎外感を抱いたこともありまし

たが、北海道の人々は、温かく受け入れてくれました。いまは「道産子系アメリカ人」であることを、誇りに思っています。

味噌ラーメン、ジンギスカンなどの名産はもちろん、大好物は「みよしの」のぎょうざカレー。カレーの上に焼き餃子に乗せたシンプルなメニューですが、口の中で二つの味が絶妙にマッチするので「B級グルメ」と呼ばれることもあります。これが私のソウルフードです。外国

した。しかもそれをエンタメとしてお届けしてしまうところがすごい。斬新すぎる企画を番組のスタッフと力を合わせて実現させていくさまは、まるでマジックを見ているようです。

ラジオをとりまく環境は、この二十年で大きく変わりましたね。スマホやパソコンでラジオを聴けるradikoが登場し、「電波か、俺か」という問いには終止符が打たれました。Spotifyなどで過去の放送が配信されるようになり、懐かしいと思って聴いてみると、私自身も変わっていることに気づきます。かつてはトークの間が怖かったけれど、今は堂々と黙っていられます。安住さんに言えなかったようなことも、あまりためらわずに発言できるようにな

りました。

番組とともに年を重ねるなかで、ラジオではそのときどきの感覚でお話しできることがあるはず。そのときにしか生み出せない放送をリスナーの皆さんと一緒に今後も楽しんでいけたらいいなと思っています。

道産子系
アメリカ人の使命
ジョシユア・W・ウォーカー
(ジャパン・ソサエティー理事長)

ノースカロライナ州に生まれ、札幌市で育った道産子の私が、ニューヨークの日米交流団体「ジャパン・ソサエティー」の理事長に史上最年少で就任したのは二〇一九年十二月のことです。当時の私は三十八歳でした。

ジャパン・ソサエティーは一九〇七年に創立されました。初代理事はニューヨーク市立大学のジョン・フィンレイ総長で、名誉理事長には青木周蔵駐米大使が就きました。当時は日本に関する情報が少なく、西海岸で日本人移民の排斥運動も起こっていた頃。そんな中、映画上映、講演、会議など様々なイベントを通して両国の友好的な交流を推進し続け、今年で百十七年を迎えました。

私が理事長に選ばれた理由の一つは日本との関係の深さでしょう。両親が札幌の教会で宣教師を務めることになり、移住したのは二歳の頃。北海道インターナショナルスクールに通い、十八歳まで札幌暮らしでした。高校時代はバスケットに熱中し、冬に札

幌国際スキー場でスノボをした後、定山溪温泉に入ったのはいい思い出。日本語はペラペラで、両国の懸け橋になり得ると見込まれたのだと思います。

もう一つの理由は、若いながらも経験が豊富だったことでしょうか。アメリカに戻ってからは、イェール大学大学院で修士号を、プリンストン大学大学院で帝国主義下の日本に関する研究により政治学の博士号を取りました。以来、国務省や国防総省など政府の機関に勤務し、二〇一七年にカザフスタンで行われたアスタナ国際博覧会ではアメリカのパビリオンを運営する仕事をしていました。そして地政学的リスクの分析を専門とするコンサル会社で、グローバル戦略事業部長兼日本部

人にはリンゴで甘みを加えた日本のカレーは理解され難いのですが、私は北海道のカレーが最高だと思っており、家で子どもにも作っています。

これから三年間は日米両国にとって、大きな節目となる行事が目白押しです。二五年は第二次世界大戦の戦後八十年で、二六年はアメリカが独立してから二百五十年。そして二七年は、ジャパン・ソサエティーが創設されてから百二十周年を迎えます。

最大の目標はアメリカと日本を繋げるというミッションを、あらゆるツールを利用して実現させることです。たとえば、ニューヨークを訪れる方だけでなく、日本に居ながらにして、デジタル空間を通じて交流や体験を深められるようにすることです。もちろん

ん、いずれはジャパン・ハウスを訪れて欲しいですが(笑)、そんな野心的なプロジェクトを考えています。

時代考証の三大極意

大森洋平
(元NHKディレクター)

一九八三年にNHKに入り、九九年から今年退職するまでの二十五年間はずっと、ドラマやドキュメンタリーの「時代考証」を専門にしていました。

放送局員による時代考証とはどんなものでしょうか？番組の台本を通読して、ドラマなら歴史的小かしの衣裳、大小の道具、台詞や動作等を、ドキュメンタリーなら史実と違う映像や不正確な用

語をチェックし、それらの修正案をリスト化して提示する作業です。また必要に応じて、スタジオやロケ現場に立ち会い、出演者の動きや台詞のイントネーションに改定意見を述べることもあります。

具体例を挙げますと、台本に「青年福沢諭吉がきつねうどんを食べている」とあったらNG。きつねうどんの発明は、明治二六年だからです。

戦前ドラマのスタジオで憲兵将校が「憲兵」という腕章を右腕に巻いていたら、「腕章は左腕に、憲兵下士官・兵が巻くものです」と、外してもらいいます。東京の町中華のラーメンに、スープを飲むため

のレンジが付くのは昭和四〇年代後半以降。第一次大戦の資料映像を見て「開戦の年には、どの国の軍隊もまだ鉄兜を採用していないから、このシーンで出てくるのはおかしい」と指摘もしました。

時代考証第一の極意は「おかしなものをださない」です。考証は裁判と違い、「疑わしきは死刑」となりません。

大河ドラマや特番歴史劇では、日本史、風俗、建築等専門の研究者を招いて、物語の歴史的真付けを確保するための「考証会議」が開かれます。ここでは「歴史的にはそっちが正しい」という先生方と「いや演出的にはこっちで行きたい」という制作担当者の意見がかみ合わないことがしばしば起きます。そういう時は、双方の間

に立って妥協策を考えます。若手時代に古典芸能番組を担当して古風な言い回しが色々わかるし、大学では西洋史を専攻したので、日本史の先生方とは違う観点での提案ができるのが強みです。

この結果、場面そのものをカットしたり、台詞をちょっと言い換えたりすると、不思議にうまく収まります。時代考証を重んじた劇作家・真山青果(一八七八〜一九四八)は代表作「將軍江戸を去る」の冒頭で、江戸無血開城をめぐる勝海舟と西郷隆盛の会見につき、「本当は二度行われている。しかし劇化の便宜上、一つの場面に縮めた」と書いています。つまり劇的感興のために、敢えて歴史を加工しているのです。何もかも史実通り正確に再現するので

はなく、一部をわざとぼかしたり変えたりすることで、過去世界のリアリティはかえって高まることがあります。

これぞ第二の極意「知らな

Fuseji

列の間違いで一瞬先に回転ドアに挟まれる
助けの来ない夢の中には仕事がない
煉瓦造りの建物には
とき場所になんげんを超えた風がやってきて
隙間から死と生の中間を追う
××を語れ
伏字で飛び越えた
世界の名前を忘れながら走った

尾久守侑

いで崩れているのはみつとも
ないが、知っていて崩すのは
かっこいいです。ただしこ
れは「崩してしまったばかりに、ますますひどくなっ

取り除く」に徹せねばなりません。

そしてこの極意二は、第三の極意「時代考証とは『粹』を決めるための道具である」

やった」という危険を常に伴います。またドキュメンタリーでは明らかに禁じ手で、こちらの考証ではあくまで「史実を明示するために不純物を

につながりません。ある時代にしっかりとした物語の粹を構築できたなら、その中で登場人物は自由自在に動き回って良い。ただし、そこからはみ出

ては絶対にいけません。最近では、現代の価値観を過去に無理やり持ち込んで、当時の人間や社会を批判するという傾向の物語が、特にアメリカ映画等で増えています。

いくら美術や衣裳が史的に正確でも、登場人物の言動が現代そのままでは全く共感できません。人類に共通の感情や望みをその時代の人ならどう表現するか、そこを描き切つてこそ真の感動は得られます。

四半世紀にわたり時代考証の仕事が続け、光栄にも今年「第五〇回放送文化基金賞」を頂けたのは、「三大極意」